

子宮体癌の手術を受けられる患者さんへ

患者氏名：

さん

主治医名：

担当医名：

受け持ち看護師名：

月日(日時) 経過(病日等)	手術前日	手術当日(手術前)	手術日 手術当日(手術後)	手術後1日	手術後2日	手術後3日	手術後4～6日	手術後7～12日
達成目標	・苦痛や不安を表現できる。 ・睡眠が十分にとれ、手術に備えることができる。	・手術を受けられる。	・バイタルサインが安定する。 ・傷の痛みが軽減する。 ・異常な出血がない。	・歩行ができる。 ・尿の管を抜去後、自然排尿がある。 ・感染徴候がない。	・感染徴候がない。	・放屁が出る。 ・感染徴候がない。	・排便コントロールができる。 ・感染徴候がない。	・活動範囲内でセルフケア行動が最大にとれる。 ・清潔保持、性生活、社会復帰について理解できる。
治療・薬剤 (点滴・内服) リハビリ	・入院までに飲んでた薬があればお知らせ下さい。 ・15時マグコロールP内服してもらいます。 ・医師の指示により眼前に薬を飲んで頂くことがあります。 ・持参薬の内服は(/ の までです。)	・手術前に薬を飲んで頂くことがあります。	・点滴をします。 (翌日の朝まで続けて点滴をします) ・血栓予防の点滴を朝までします。 ・背中に痛みどめの管が入っています。 ・お腹に管が入っています。	・点滴が朝と夕にあります。 ・血栓予防の注射があります。 	・医師の指示があるまで、血栓予防の注射があります。			
処置	・診察(4階病棟の内診室) ・手術部位の除毛	・早朝に洗腸をします。 手術の開始時間は (:) 時頃です。	・血液の流れを良くするための器械を足に着けます。	・歩く前に、血液の流れを良くするための器械を外します。	・傷口の確認をします	・背中に入っている痛み止めの管を抜きます。 ・お腹に入っている管を抜きます	術後6日目に 診察します。(/) 傷の確認をします。	
検査				血液検査(/) 		血液検査(/) 	術後6日目血液検査(/) 	
活動 安静度	自由	自由	ベッド上安静 	座れます。歩けます。 (安静解除後初めて歩く時は、看護師がつきそいます。)	自由			
食事	1. 普通食 2. 治療食 ・手術前日の食事と水分を摂って良い時間 医師の指示で決まります。 絶食(:)	・食べたり飲んだりしないで下さい。 絶飲(:)	・食べたり飲んだりしないで下さい。	朝)腸の動きを看護師が確認後 水が飲めます。 昼)3分粥 夕)5分粥	朝)5分粥 昼)5分粥 夕)5分粥	朝)7分粥 昼)7分粥 夕)7分粥	朝)全粥 昼)全粥 夕)全粥	普通食もしくは治療食 
清潔	・診察後に入浴、洗髪をして下さい。 ・化粧やマニキュアは外してください。 ・指輪等の装飾品も外してください。	・診察後はシャワーはしないで下さい。 ・入れ歯、コンタクト、補聴器を外して下さい。	・陰部を清潔にします。 ・うがいを積極的にします。	・タオルで体を拭きます。 シャンプーできます。		・術後4日目より、傷口に問題がなく発熱がなければシャワーですす (シャワーに入って良いかは、看護師がお伝えします) 		
排泄	トイレ	トイレ	・尿の管が入っています。	・尿の管を抜きます。 ・その後トイレまで歩くことができます。	・自尿、残尿測定を行います。(1日3回。残尿が50CC以下に3回連続でなければ終了です。)			
検温	1回(入院時) 	手術前 	頻回 	4回(6時・10時・14時・19時) 			2回(10時・19時) 	
患者様及びご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	・看護師から入院生活の説明を致します。 ・手術前オリエンテーション ・主治医による入院治療の説明 ・主治医による手術説明 ・麻酔科医師による麻酔の説明 ・手術室看護師の訪問 ・手術同意書の確認 				・服薬の説明 		・退院指導 	

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。